

26PB-pm301

心臓カテーテル検査予定者を対象とした睡眠と心身状態の関係性の検討

○宮内 美佳¹, 町田 いづみ¹, 佐藤 照美², 大宮司 貴子² (¹明治薬大, ²那須赤十字病院看)

【はじめに】心臓カテーテル検査(以下、心カテ)で使用されるヨード造影剤では、即時副作用に加え、遅発性副作用が生じる可能性があるため、患者-薬剤師間の十分な情報共有が必要となる。心カテを受ける患者の多くはさまざまな不安を抱くことが報告されている。不安状況下では理解力が低下したり、客観的評価が困難になったりする。今回、基本的な問診項目の一つであり、かつ、精神症状との関連が強いとされる「睡眠」から、患者の心身状態を予測できないかと考え調査を行った。

【目的】心カテ予定患者の睡眠と心身状態との関係について検討すること。

【対象及び方法】平成26年10月から12月の心カテ予定患者の内、調査への同意が得られた53人(男:女=2.5:1 平均年齢=66歳 SD=10.2)に個別の事前アンケートを行った。調査内容は、対象者の背景要因、心カテへの不安、胸部痛症状・他の疾患の有無、心カテの経験数、一般精神健康質問紙(以下、GHQ28)とした。解析は、GHQ28に基づく睡眠障害群27人-非睡眠障害群26人の2群間で比較した。

【結果】「睡眠障害群」では、心カテへの不安、胸部自覚症状、現在治療中の他疾患の有無の項目で、「非睡眠障害群」に比べて多かった。また、GHQ28による、身体症状、不安症状得点において、神経症レベルの者が有意に多かった。(有意差は5%以下とした)

【考察】心カテを受ける患者の睡眠状況は、検査前の患者の心身の状態と関係していたことより、心カテ予定者から睡眠障害が訴えられた場合には、身体的及び心理的状态についてさらに詳細な聞き取りと評価が必要かつ重要であると考え。また、情報提供を行う場合には、情報共有の状況について、より注意深く評価する必要があると考える。